

Vリグによる橋脚点検

使用頻度: 🧑🏫 🧑🏫 🧑🏫 🧑🏫

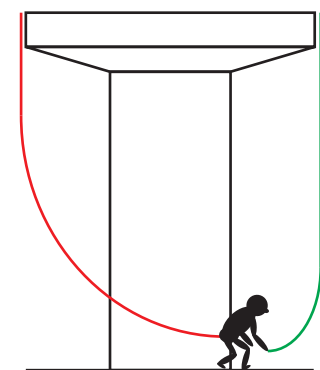
難易度: 🧑🏫 🧑🏫

ロープアクセス技士レベル: 2~3

2本のロープを操って上下左右、自由自在に移動できるVリグ。1度の下降で広範囲にアプローチできるので橋脚、橋台など壁面の点検に有効です。Vリグを使用する際に注意が必要なのがロープと躯体の接触、ロープの擦過です。予めロープが擦れそうな場所を予想してロープガードを設置しましょう

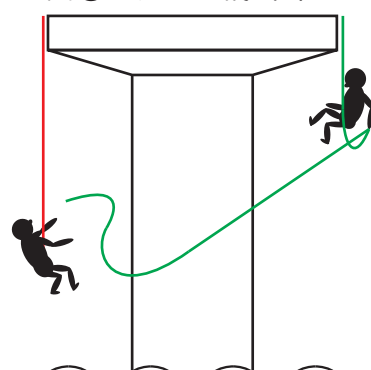
【2本目ロープの受け渡し方法例】

例① 陸上の橋脚



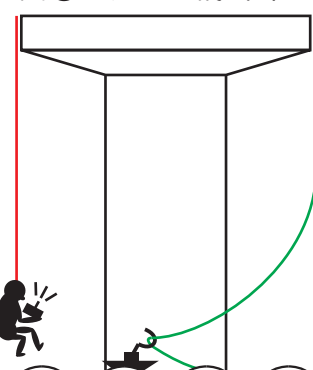
地面まで下降して拾います

例② 水上の橋脚(その1)



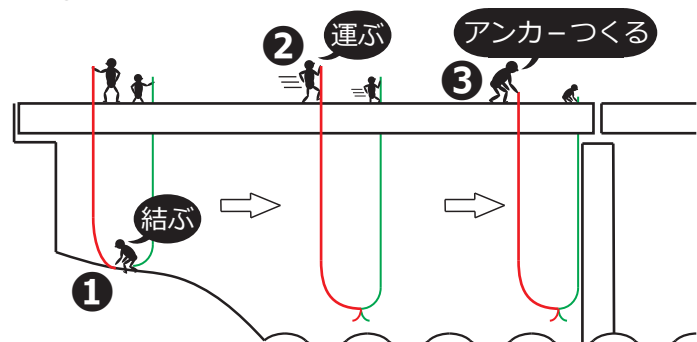
ロープ末端を投げ渡します

例③ 水上の橋脚(その2)



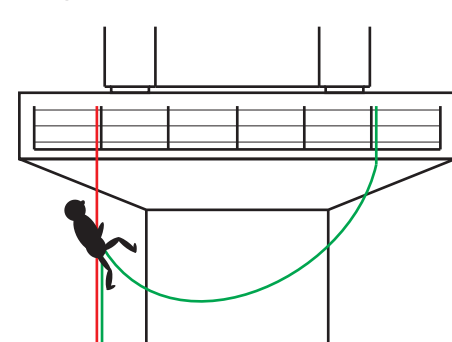
ラジコン舟を使います

例④ 水上の橋脚(その3)

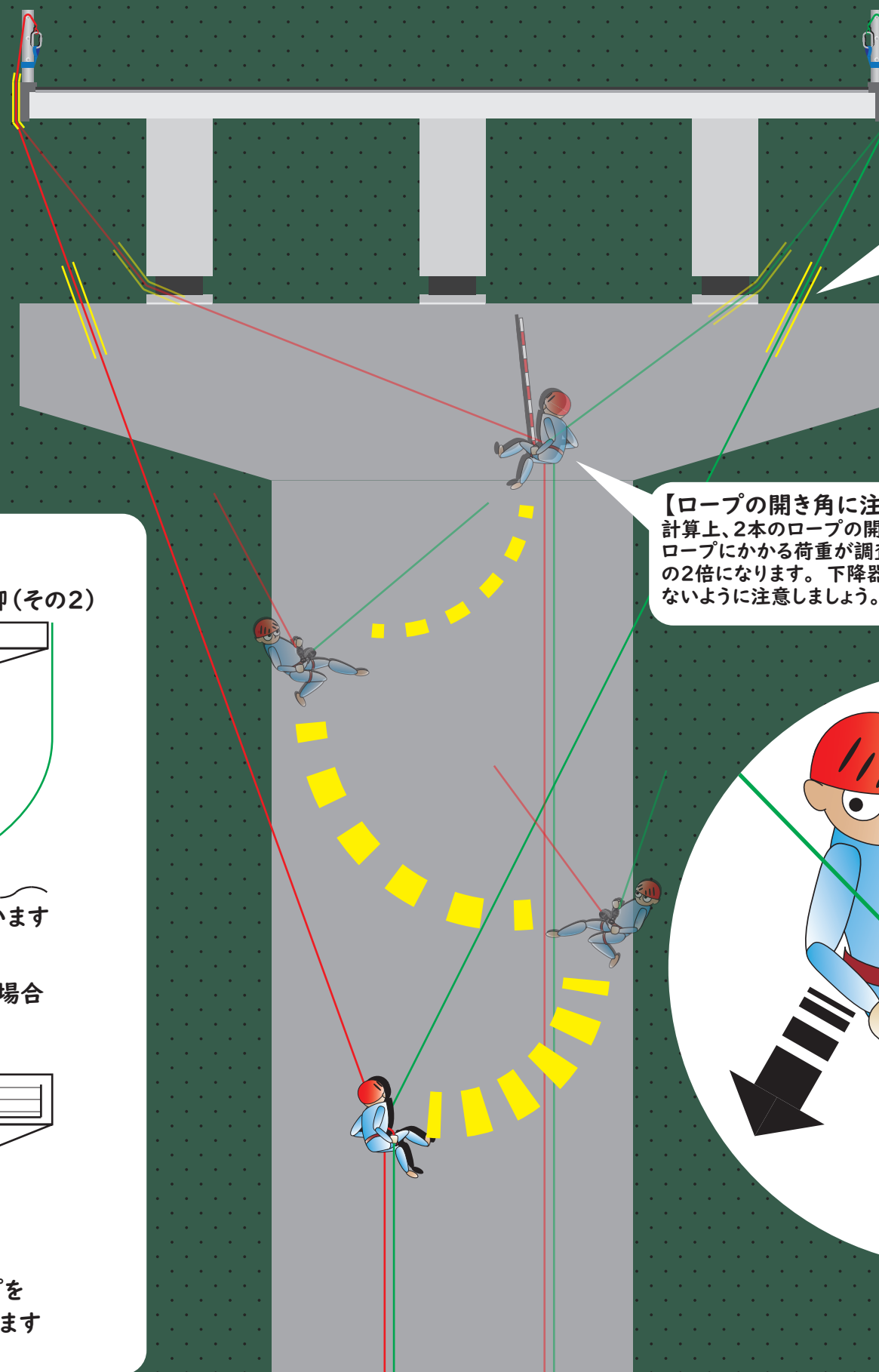


①陸上で両ロープの末端を結び ②そのまま水上へ運搬 ③橋脚位置まできたらアンカーを作成します

例⑤ 梁部に検査路がある場合



あらかじめ両方のロープを下降器にセットして下降します



【ロープガードを確実に】
ロープに荷重がかかった状態で地覆や主桁下端に接触するためロープガードは必ず、確実に設置します。位置がズれてしまった場合はすみやかに調査を中断、接触しているロープから荷重を抜いてロープガードを正しい位置に付け直しましょう。

【ロープの開き角に注意】
計算上、2本のロープの開き角が150°を越えると1本のロープにかかる荷重が調査員の体重(装備重量含む)の2倍になります。下降器の運用荷重(200kg)を越えないように注意しましょう。

右下に移動したい...

右下に移動する場合は左のロープ(赤)を送り出し下降します。逆に右のロープ(緑)を下降すれば左下へ移動できます。

もちろん、下降だけでなく登高しながらの移動も可能です。